

常設プレーパーク設置に向けた検討について

1 現状と課題

区は、放課後等の子どもたちの居場所をつくる「中野区放課後子ども教室推進事業」等を通じて、プレーパーク活動を行う団体の育成・支援を行っているところである。地域におけるプレーパーク活動は普及しつつある一方で、開催頻度や公園施設等利用上の制限があるなどの課題が生じている。

また、地域のつながりの希薄化や子育て世帯の孤独・孤立への不安、児童虐待、不登校、いじめ、貧困など、子どもたちを取り巻く課題は複雑かつ複合化しており、多様な居場所づくりが求められている。

こうしたことから、子どもたちの自由にやりたいことができる遊びを実現し、多様な交流や体験を得られる地域の居場所として、常設プレーパークの設置に向けて検討を進めていく。

2 常設プレーパークの基本的考え方

(1) 子どもたちが主体の遊び場

子どもたちの「やりたい」という気持ちを刺激し、それを自由に実現できる遊び場とする。主体的な遊びを通して、想像力や自己肯定感等の育成を促進する。

(2) 乳幼児親子の居場所

乳幼児親子の子育ての孤独・孤立の解消などを促進するため、乳幼児親子がくつろげて交流が生まれる場とする。

(3) 地域との交流が生まれる場

子どもだけでなく、地域住民や地域団体の参画・連携を通じて、世代を問わず多世代の交流ができる場とする。地域交流の活性化とともに、多様な担い手づくりを促進する。

3 検討の方向性

常設プレーパーク設置に向けて、候補地の検討・調整を行うとともに、設置内容及びスケジュール等の検討を進めていく。

候補地については、自然環境、面積、周辺住環境等の視点を踏まえ、検討・調整を行う。

4 今後のスケジュール(予定)

令和5年 6～8月	候補地に係る検討・調整
10月	常設プレーパーク設置の考え方の取りまとめ